

あなやま

社会福祉法人 信和会

〒407-0263

山梨県韮崎市穴山町 5164

TEL 0551-25-6100

FAX 0551-25-6103

<http://www.sip-shinwakai.jp>

編集責任者 栗原 信

新春のお慶びを
申し上げます

鳳凰三山～穴山町重久より～

『地域社会への貢献』



社会福祉法人信和会 監事 守屋 稔

皆様方におかれましては 希望に輝く新年をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

私は、平成29年より社会福祉法人信和会の監事を務めさせていただいております。

栗原家との関係は、父が信和会会長の栗原信雄氏と穴山小学校・旧制蕪崎中学校の同級生で親交が厚く信和会の設立から携わり、後援会会長・評議員を務めて参りました。晩年、体調を崩し評議員辞退を申し出たところ息子である私に引き続き評議員をとのお声を掛けていただき、私も会長には仲人を執り行っていただいたご縁から快諾し、平成25年から評議員を務めさせていただき、現在は法人の監事を務めております。

父と私の親子2代で栗原家とお付き合いさせていただいている中、いつも感心することがあります。それは常に『地域社会への貢献』について考えて行動されておられることです。主なものをご紹介します。

一つ目は、私が小学校5年生の時です。当時、サッカースポーツ少年団が全盛期の頃でした。蕪崎市内では、まず藤井小学校に発足し、次に穴山小・穂坂小学校が同時期に発足、マンモス校であった蕪崎小学校より早かったと記憶しております。全校生徒120名弱の小さな小学校で4年生から6年生の殆どの男子が入部しておりました。このスポーツ少年団の発足にあたり物心両面でご尽力いただいた方が会長であります。初代の監督として、地域の子供たちの健全な育成・体力作り・精神力を鍛えていただき、当時の会長は穴山郵便局長として多忙な中、休日返上で試合の指揮をとったりと大変なご苦労があったと思います。県大会での成績は、あと1試合勝てばベスト8というチャンスが2度ありましたが、いずれも敗退してしまい悔しく懐かしい思い出です。少年団出身の生徒は、蕪崎東中・蕪崎高校サッカー部に進み、関東大会や全国大会で活躍、多くの名選手を輩出することとなり、この礎を築いたのは紛れもなく会長であります。

次に、昭和61年精神薄弱者厚生施設『穴山の里』の開設です。穴山町に福祉施設を開くことにより、地域からの雇用を創出させました。それ以降、障害者支援施設

『穴山の里』として35年に渡り事業を継続しております。また、現在までに穴山町内にて6事業を展開しており、障害者支援及び老人介護サービスの邁進や地域の方の雇用の増加にも繋げています。平成23年に長男の栗原信氏が理事長に就任した後も、会長の信念は引き継がれ地域からの雇用を積極的に進めています。

そしてもう一点は、昭和61年『穴山の里』の開設以来現在まで続いているJR穴山駅舎の美化清掃活動です。JR穴山駅は、通勤・通学や南アルプスへの登山者等多くの方が利用されますが、当駅は無人駅で職員はいません。穴山町の玄関として乗降者に気持ちよく利用してもらいたいとの会長の考えから施設利用者と職員が行って来ました。この長年の地域貢献活動により、令和元年秋の叙勲には国より『緑綬褒章』を賜りました。大変素晴らしいことであり、穴山町の誇りであります。

私は、現在山梨県民信用組合に勤務しています。信用組合の経営理念は、『相互扶助』『共存共栄』『地域社会への貢献』であります。当組合は、毎年『難病や障害を持つ子どもと家族の支援』に合致した活動を行う事業先に寄付金を贈呈しています。これは、全国の信用組合と(株)オリエントコーポレーションが提携し『しくみピーターパンカード』を創設、カード手数料の一部を寄付金に捻出して贈呈するものであります。信和会の多機能型事業所『わ〜く穴山の里』の活動が、私共の理念と合致しており、平成24年に県内の幾多の事業先の中から選出し寄付金を贈呈させていただきました。

以上、ご紹介いたしました地域社会への貢献は、ほんの一部ではありますが、会長の信念は理事長に継承され、地域社会に根差した活動を通じて今後も続いていくと思います。私も微力ではありますが、信和会の発展に貢献してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。2年近くに及ぶコロナ禍は、まだ先行きが不透明で予断を許さない点もありますが、ワクチンの接種や治療薬の開発により収束に近づいているように思います。信和会の役職員の皆様にとって本年が良き一年でありますようご祈念し寄稿文とさせていただきます。

本部だより

社会福祉法人 信和会 法人本部
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
Tel:0551-25-6100
E-mail: honbu@sip-shinwakai.jp



理事会・評議員会報告

開催日時 : 【理事会・評議員会】
令和3年12月4日(土) 10:00~
開催場所 : 穴山の杜 会議室
審議事項 : 第1号議案 各事業所運営規定の変更について
第2号議案 事業活動の報告について
穴山の里新型コロナウイルス感染症クラスター収束報告
第3号議案 その他



令和3年度第2回の理事会・評議員会は、今年度初めて対面式での開催となりました。新型コロナウイルスの感染が落ち着いていることもあり可能であると判断をいたしました。今年度は評議員2名の方が退任し、新たに2名就任の運びとなり初顔合わせの役員会ともなりました。第1号議案では、穴山の杜・杜ショート・さくらの3事業所より運営規定等の変更を提案し、了承いただきました。第2号議案につきましては、皆様にご心配をおかけした新型コロナウイルス感染のクラスター収束の報告を主に行いました。その他の議案においても各役員様より「大変だったけれども本当に頑張った」とねぎらいの言葉もいただき感激いたしました。

以下に当日ご報告したクラスター収束までの資料の一部を添付いたします。

多くの医療関係者及び関係部署の方のご支援及び里職員や応援職員の尽力によりクラスターの収束を迎えることはできました。しかしながら、未だ職員の体調不良や人員不足等でクラスター前の状況まで支援は回復していないのが実情です。今後ともご支援、ご協力をお願いいたします。

穴山の里 新型コロナウイルス感染症 クラスター発生から収束までのとりまとめ 2021.12.1

	里 利用者 (52名)				里 職員 (44名)				山梨県、医療支援体制	中北保健所	施設対応		
	発症者	延数	入院者	入院計	発症者	延数	入院(計)	療養(計)	PCR検査%	富士市	法人内施設		
6月4日	金	5	5	2	2	1	1	1	山梨県感染症対策センター(山梨CDC) 出動	調整会議	県障害福祉課と組織調整		
6月5日	土	25	30	1	3	2	3	2(3)	DMA T (災害派遣医療チーム) 開設		管理者2名増員(PCR検査)		
6月6日	日	17	47	1	4	9	12	8(11)	1F,2Fともレッドゾーンにて療養棟対応	検査体制の調整			
6月7日	月		47		4		12		医師2名、看護師4名(2交代)	PCR検査3日間サイクルで全員実施			
6月8日	火		47	2	6	3	15	2(13)	1(2)	事務方含めて療養棟治療体制とする	*陽性者の対応 都度指示あり	支援6名、栄養士1名増員	
6月9日	水		47	2	8	1	16	1(14)		山梨県CDC DPATの出動要請検討	*中北保健所より職員面談開始	*若神様3F,4F,5F借上げ	
6月10日	木		47	3	11	1	17	-1(13)	1(3)	北病院より医師来所、薬調整を確認	PCR検査4日間サイクルで全員実施	(濃厚接触者,接触者通い)	
6月11日	金	1	48	2	13	1	18	1(14)			*6/14~就労支援の通所		
6月12日	土		48		13		18				*中北からの職員面談中止(DPATへ)	中止決定(追加動員目的)	
6月13日	日		48		13	1	19		1(4)				
6月14日	月		48		13		19	-1(13)	-1(3)	DPAT(災害派遣精神医療チーム) 開設	ワクチン接種 山梨県、富士市と調整	支援3名増員(合計12名)	
6月15日	火		48	-2	11	1	20	-4(9)	1(4)	医師1名、看護師2名、OT1名			
6月16日	水		48	-2	9		20				*ワクチン準備は富士市		
6月17日	木		48	-2	7		20	-1(8)			*ワクチン接種 実施はDMAT対応		
6月18日	金	1	49	2	9		20	-3(5)	-2(2)		*陽性者以外の職員全員接種予定	支援1名増員(合計13名)	
6月19日	土		49	-1	8	1	21		1(3)	DPAT 医師2名(面談/処方)、看護師	*利用者3名の陰性者接種予定		
6月20日	日		49		8		21	-1(4)		(目下部記念病院、山梨県立北病院)			
6月21日	月		49	-2	6		21			利用者3名の未感染者はつつじ寮へ隔離	ワクチン接種1回目-1		
6月22日	火		49	-1	5		21	-2(2)	-1(2)	*全体会議にてDMAT6/25,DPAT6/30終了			
6月23日	水		49		5		21			が決定	ワクチン接種1回目-2		
6月24日	木		49		5		21		-1(1)				
6月25日	金		49	-1	4		21			DMA T支援終了、1F,2Fゾーン解除	ワクチン接種1回目-3		
6月26日	土		49		4		21			施設内利用者の陽性者が6/11以降2週間	22~25日PCR検査全員陰性、検査終了		
6月27日	日		49		4		21			発生していないことから(入院者は除く)			
6月28日	月		49		4		21			未感染利用者3名はつつじ寮隔離のまま			
6月29日	火		49	-1	3		21	-1(1)	-1(0)	全施設隔離解除(つつじ寮隔離を解除)	利用者未感染者3名のPCR検査陰性		
6月30日	水		49	-2	1		21			DPAT支援終了			
7月1日	木		49		1		21	(1)	(0)	HPに新型コロナウイルス感染症の収束宣言掲載			
		49名		15名		21名		15名 6名					
12月1日現在	入院0 全員回復				入院0名,0名休,4名軽減措置				山梨県立中央病院 HP動画報告あり		7/12~21日ワクチン接種2回目終了		7/2にて支援増員終了
	陽性者ワクチン接種1回目 10/4,13				2回目 10/27,11/5				(報告は動画内15分あたりから26分まで)		コロナ抗原検査実施中(不定期)		7/5~就労支援再開
		*11/5時点で陽性者のワクチン接種2回目は終了						https://www.ych.pref.yamanashi.jp/9455/				法人、わーく応援実施中	

穴山の里

障害者支援施設 穴山の里
〒407-0263 菟崎市穴山町 5164
Tel.0551-25-5900
E-mail : sato@sip-shinwakai.jp



～新年のご挨拶～

皆様、明けましておめでとうございます。本年もよろしくお祈りします。
昨年は、大変お世話になりありがとうございました。新型コロナ株の感染のニュースが発表されていますが、今年は寅年、壬寅、「壬」は「妊を通じ、陽気を下に妊（はら）む」、「寅」は「蟻（ミミズ）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。そのため「壬寅」は厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となるイメージだそうです。



皆様にとって良い1年となりますように。明るく元気に行きましょう。

穴山の里施設長：栗原信

強度行動障害実践研修を受けて(穴山の里支援員：中込心平・樋山慧人)

12月7日・8日に強度行動障害支援者養成研修の実践研修に行かせて頂きました。実践研修では、障害特性に基づくアセスメントや支援の組み立てについて学び、支援手順書を作成、グループディスカッションを通して見直し、修正を行いました。

支援手順書とは利用者の特性を考慮し、本人の想いを大切に、個々に合わせた支援内容を考えて作成することです。この手順書を作成することで、職員間で誰が見ても分かりやすく、統一した支援が出来るため、とても重要なことだと学びました。

変化に慣れない利用者に対して統一した声掛けや支援は、本人が穏やかに過ごす上で大切な事です。今回学んだことを今後現場で生かし、より良い支援が出来るよう、また、自身の技術、知識の向上に努めていきたいと思えます。(中込)

今回の研修で強度行動障害がどのような障害であるのか詳しく知ることが出来ました。約半年と短い現場経験ではありますが、知識の向上と同時に現場での出来事を照らし合わせながら受けることが出来たため、自分の行っている支援方法を見直すことが出来た機会にもなりました。講義の中で最も学びとなったことは、利用者が問題行動をした際に注意すべきであるかという事についてです。講義では利用者がなぜその行動に至ったのか背景因子と本人の特性を分析し、支援方法を改善していく事が重要であると学びました。このことから本人にとってはその行動がこだわりでもあるため頑なに否定はせず、制限を設けるなどして軽減することが本人もストレスをあまり感じることなく生活できるようになるのではないかと感じました。

自分自身、利用者の特性をまだ理解できていない部分もあり、今後も支援の中で理解に努めると共に研修で学んだ事を取り入れ、よりよい支援が出来るよう努力していきたいと思えます。(樋山)



クリスマス会



今年は、利用者の要望のハンバーガーを厨房の富士産業さんが手作りで提供してくれました。ダブルチーズバーガー。すごいボリュームでも皆さんペロリ、おやつのケーキもペロリ。

お正月

新年の始まりに、鷲宮神社に参拝へ行きました。お正月には、カルタや福笑いをしながら皆さんで楽しみました。



介護浴槽が老朽化したので、新しい浴槽を購入しました。新しい浴槽でさっぱりして頂いています。



介護浴槽
新規購入



穴山の杜

特別養護老人ホーム穴山の杜
〒407-0263 韮崎市穴山町 5390
TEL0551-25-6100
E-mail : mori@sip-shinwakai.jp



最近の生活習慣の変化からか、体調の不調を感じる人が多くなっています。昨年の秋に施設職員の腰痛検査結果を受け、アンケート調査を実施したところ、多くの職員が仕事上で腰痛の不安、運動不足からと思われる身体疲労感を感じていることが伺えました。また、「腰痛対策の運動の機会を設けて欲しい」・「定期的なストレッチ教室の開催 (63%)」・「マッサージ機器の設置 (61%)」など意見や希望が出されました。この結果から、職員の不安を解消し心身ともに健全な業務活動とするために、1月からストレッチ教室の開催など、具体的な対応を進めています。



右側挿絵：鶴3丁目介護職員が描いてくれました

大切にさせていただきます！

介護センター花岡様より、車椅子のご寄付いただきました。早速、利用者にご乗車いただくと「いいね、どこかへ出かけたくなるね」と笑顔が見られました。



新春を迎え、鶴1丁目では書き初めをしました。真剣な面持ちで半紙に書かれ、墨汁の香り、風情を感じました。皆さまのご多幸とご健康をお祈り申し上げます



大晦日の12月31日、亀3丁目ではいくらのせたちらし寿司と年越しそばを作りました。みなさん嬉しそうに頬張っていました。元気に年越しを迎えられましたね！



クリスマス食として、12月27日の昼食はにぎり寿司でした！目をキラキラ輝かし、「豪華だね！」「何の日で!？」と待ちきれず、配膳されるとすぐ手を伸ばし、召し上がっていました。

鶴フロアでは12月26日にクリスマス会を行いました。クリスマスケーキは各ユニットで作りました！本格的なデザインの物や生クリームを塗ったスポンジに薄くスライスした苺を貼り付けたり、カラフルでポップな飾りなど、それぞれ美味しそうに仕上がっていました。可愛いケーキを食べ、クリスマスを楽しみました！



美味しく、楽しいクリスマスでしたね～ほっほっほ～



〈委員会活動の紹介〉

〈安全衛生委員会〉では、感染予防や衛生管理、褥瘡予防や皮膚トラブルについて、状況の確認や予防の対策について話し合い、感染予防への啓発や手洗いチェック、研修の実施などを行っております。食中毒予防として、日頃から衛生管理に努めている給食委託業者の方をお招きし、専門的なお話をいただきました。10・11月には、コロナウイルスクラスターの実態を知り、改めて感染予防に取り組んでいく為、穴山の里での対応について情報をまとめていただき、研修会として本部職員より発表していただきました。現在は主にコロナウイルスが脅威ですが、ノロウイルスやインフルエンザ、その他の感染症を持ち込まない・持ち込まれない為の対策、穴山の杜としてどのように対応していくのか、検討し施設全体で取り組んでいきたいと思っております。

◆ 合同研修実施 ◆

介護力向上委員会と介護事故拘束虐待防止委員会にて“内出血を減らすための講義と実技”という題目で合同研修会を実施しました。ベッドと車椅子を使用し、まずは悪い例を委員が演技し、悪い点や改善点を挙げてもらい、利用者や職員両者が辛くなく楽な移乗動作の見本とポイント説明を行いました。それを実践する形で、介助する側と介護を受ける側をどちらも体験し、またユニットで悩んでいる介助方法を相談する機会を設けました。内出血には利用者ご自身でぶつけてしまった・介助中・血管壁が脆くなっている事により自然に、と原因は様々考えられます。原因を探り、対策を検討、介護方法の見直し、発生を抑えるよう学習も続けていきたいと思っております。



わ〜く 穴山の里

多機能型事業所 わ〜く穴山の里
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866
E-mail : work@sip-shinwakai.jp



今年も利用者職員一丸となって頑張ります！！



日頃より仕事を沢山いただき、取引先企業の皆様には感謝申し上げます。
①作業の細分化 ②適切な配置 ③効率の良い作業が出来る仕組み作り
に取り組むことで、質の高い製品を納期通りに納めることが出来ております。
障がいサービス事業所だからミスがあってもいいということではなく、納期に間に
合わなくても許されることもありません。
一般企業と同じ立ち位置で仕事をし、評価を受け、工賃をいただいています。
障がいを持つ方が「働く」ことも時代の流れと共に、受け止め方や認識のされ
方が変化しています。

〜農福連携事業 地域参加への道 ③〜

穂坂町にある小沢農園様のぶどう畑でたい肥撒きと枝の剪定
作業を行いました。丁寧にご指導いただいた小沢様には感謝
しております。



利用者面談を始めています

工賃向上に向けて、利用者と職員
が同じ目標を共有して取り組むこ
とを目的とした、面談を始めてい
ます。
「頑張った」が、工賃に繋がるよう
一緒に進みます。



祝！！ 成人

今年、成人の日を迎えた利
用者のM・Mさん！
おめでとうございます！



祝
成人式

共同生活事業所

共同生活事業所 (わ〜く穴山の里内)
〒407-0263 韮崎市穴山町 4433-1
TEL : 0551-25-5866



今年も仲良く元気良く！！



地域の方々の温かいご支援、ご協力のおかげで、
日々グループホームで暮らしております。

今年も、感染対策に留意しながら生活していき、
様々な活動に参加していきたいと思ひます。
また、利用者さんがより良い生活を送れるように、
支援していきたいと思ひます。



新型コロナウイルスの収束の兆しが見えた頃、
保護者の方々との面会を行いました。
久しぶりに会い、とても嬉しそうでした。
楽しい一時を過ごしていました。

〜年男〜



【今年の抱負】
元気に
たのしく
スポーツする!!!!



穴山の杜短期

穴山の杜 短期入所生活介護事業所
〒407-0263 韮崎市穴山町 4410-3
TEL : 0551-25-0800



おやつしゅく



10月のハローウィンにクッキー、11月は芋饅頭、12月にはお焼きを作りました。「この年になってクッキーを作るなんて・・・」とおっしゃられながら型抜きをしていました。饅頭の生地はこれまで弾力と歯ごたえが課題でしたが、捏ねる時に砂糖を混ぜると良いとお年寄りに知恵をいただき、早速試して成功しました。お焼きは具を手際よく上手に包んでいました。流石です。どれも口に入るまでの美味しそうな匂いに待ち遠しく、皆で作ったおやつは格別です。



お楽しみみ食



利用者からのリクエストによるお楽しみ給食を12月23日に実施しました。麦ごはんのおにぎりに、豚汁は浅尾大根、八幡芋、穴山で収穫された白菜など地元野菜で具沢山にしました。おにぎりの具は鮭、昆布、青菜から好きなものを選び、懐かしい麦ごはんを頬張り、昔話で会話が弾みました。



厚紙に毛糸やモールなどで飾り付け、クリスマスツリーを作成しました。雪の結晶の切り絵は細かくて苦戦しましたが、色とりどりの個性的なツリーが完成しました。



クリスマスイヴの昼食に海老ピラフとローストチキンを食べ、おやつにケーキとコーヒーでクリスマス会をしました。職員から手作りのメッセージカードがプレゼントされ、「上手だね〜!」「家に帰ったら家族に見せよう!」と喜ばれていました。苺ショートやモンブランなどケーキはバイキングで、楽しい時間を過ごしました。また年末には恒例の握り寿司の提供があり、鮭やイクラなどでおなかも満腹。ご馳走続きで良い年の瀬となりました。



元旦は寒波の影響でとても寒い朝でしたが、初日の出も拝められ、10人の利用者と新年を迎えました。今年はお手製の穴山神社とおみくじが登場。これまたお手製のお賽銭を入れて、早速金を鳴らし初詣。今年の運勢を占い、おみくじを引き「大吉!」と喜ばれていました。手作りの絵馬に願い事も書き奉納しました。昼にはお雑煮やお節を食べ、午後には書き初めやかなるた取りを楽しみました。

『健康で幸多き1年でありますように・・・』



正月を迎えるに当たり、ビーチボールに新聞紙や赤和紙を何層にも貼り、縁起物として親しまれているだるまを制作しました。三が日が過ぎ、皆の幸せを願って目を入れる予定です。



感謝録

(令和3年9月16日から令和3年12月15日)

～ご寄付を頂きました～ (敬称略)

ありがとうございました。感謝いたします。

村田正恵・川崎武志・古内保明・佐伯久美子・藤村久男・
広江とし子・植木敏子・藤田 元・大河原典子・柴田正雄・
官方晴美・小泉尚志・飯野志津子・細田太満美・能見荘・
千野公洋・仲二見金男・(株)セレオ

2022年 諏訪の御柱

奥山の大木、里に降りて神となる。

7年に一度、遥か昔からこの諏訪の地で寅と申の年に執り行われる神事「式年造営御柱大祭」。

宝殿の造り替え、そして御柱を選び、山から曳き、境内に建てる一連の神事は通称「御柱祭」と呼ばれ、諏訪大社



の中でも最大にして最も重要な神事とされています。

1200年以上も連続と受け継がれ、諏訪6市町村の氏子たちが奉仕する御柱祭は、諏訪の誇り高さ伝統文化でもあります。

諏訪大社上社の御神体は守屋山という山であり、その麓に社殿が建てられています。豊かな社叢に覆われた境内は荘厳な雰囲気、本殿はなく、幣拝殿の左右に片拝殿が並ぶ独特の配置です。

平成23年から25年に数回に分けて機関誌の表紙でも紹介しましたとおり、ここ穴山町も由来がある6つの神社があります。コロナ禍の中で諏訪圏外からの観覧は出来ませんが、無病息災・諸願成就を祈念したいと思います。

かな社叢に覆われた境内は荘厳な雰囲気、本殿はなく、幣拝殿の左右に片拝殿が並ぶ独特の配置です。

新成人

1月9日、2名の職員が成人式に参加しました。

久しぶりに顔を合わせる旧友と懐かしい思い出話などに花を咲かせました。

成人としての自覚と行動を常に持ち、大人になった多くの若者のこれからの人生に幸多かれと祈ります。



感染予防に留意し参加致しました。 里 堀内くん



杜 新海さん

編集後記

2022年はどんな年になるのだろうか？マスクなしでの生活が当たり前だった2019年、感染症が蔓延しオリンピックが延期された2020年、感染対策 with コロナでオリンピックを開催した2021年、毎日の出来事が歴史となり未来に語り継がれていく。私達は歴史の一端と共に生きている。良いこと大変な事全てが経験値となり人の器を大きくするのだろう・・・そう思えば越えられない山はない！本年もよろしくお願い致します (M・O)

訪問録

(令和3年9月16日から令和3年12月15日)

☆教育実習・職場実習 (敬称略)

◎帝京学園短期大学

鈴木萌々子・田中さくら・渡邊彩花

◎山梨学院短期大学

加藤里菜・野澤すみれ

◎北杜高校

中澤瑠菜・松永輝・村松結生

☆施設訪問 (敬称略)

清水屋旅館(清水雅美)・更生保護女性連盟会
穴山支部



ICTへの取り組み

信和会ではコンピューターを導入し支援記録や介護日誌の記録を行っています。設立当初は紙媒体による記録が主流でした。情報の共有や履歴確認に時間を要することから事業所毎に設置していたネットワークを2015年に統合し情報の一括管理を目的にVPN接続を構築し、すべての事業所をネットワークで接続しました。製造業等ではごく当たり前のシステムですが社会福祉の分野では多くはありません。

2020年に穴山の杜と穴山の杜短期入所生活介護事業所へのWi-Fi環境を整え眠りスキャンやタブレットを導入し、利用者の動向をいち早く知ることが出来る事と入力作業の軽減を目的としています。

ここでの課題は機器の取り扱いと入力作業の変更に伴う習熟でした。身近にある携帯電話がガラケーからスマホに変わってきたようにキーボードからの入力からタッチパネル入力に変更となりました。新たなものを導入するときに共通する課題です。"今までのほうが楽だった"=作業に慣れている・新たに覚えるのは大変。

まずは意識を変えることからスタートです。

2021年に新型コロナ感染症が蔓延し、日常であった面会なども中止せざるを得ない状況が発生しました。一年近く面会ができない状況で威力を発揮したのがリモート面会のシステムです。ネットワークを利用した面会は遠く離れた場所からも画面越しに顔を見ることが可能です。

ネットワーク環境が整った現在では研修や会議、面会などの利用に役立っています。

ネット環境を利用したシステムは今後も変化し、長い年月の経験を経て当たり前と感じることになる事と思います。2022年は穴山の里へ更にICT機器導入を予定しており、すべての事業所の利用者が安心・安全に生活できるよう職員の間接業務の負担を軽減し、人でしか成し得れない支援・介護に頑張っていたいただきたいと思います。